全ての職員、友の会会員のみなさんへ

戦後 70 年、最悪の悪法に反対し、憲法違反の戦争法案を廃案にしよう

2015 年 7 月 16 日
社会医療法人社団健生会
常務理事会

自民・公明両党は、7 月 15 日、大多数の国民の声を無視し、戦争法案（安保法制関連法案）を衆議院「平和安全」特別委員会で強行採決しました。そして 16 日には衆議院本会議で自民・公明・次世代の党の賛成で可決しました。同法案は日本国憲法前文と第 9 条の平和主義を蹂躙する、明確な憲法違反の法案です。日に日に広がる国民の反対の声を踏みにじり、憲法と立憲主義に違反する法案を強行採決することは民主主義への重大な攻撃であり、破壊です。この蛮行を許すわけにはいきません。

今、各地で戦争法案反対の運動が立場や世代を超えて広がっています。地方自治体からも採択に反対する意見書があがっています。憲法学者、弁護士会など、各界より廃案を求める声が起きています。各地で集会、パレード、デモが行われ、国会周辺行動にも連日多くの人たちが集まり抗議の声を上げています。

全ての職員、友の会のみなさん

私たちは今、日本の将来にとって重大な岐路に立っています。戦争法案は成立させてはなりません。日本が海外で戦争する国になることを防ぎ、戦争法案の廃案と立憲主義を崩壊させないため、職員・友の会のみなさんが活動の輪を一層広めることを呼び掛けます。

事業所、職場、友の会でアピールを出しましょう
国会行動など職場で話し合い参加するなど行動しましょう
署名、宣伝、集会、パレード・デモなどに参加しましょう
患者・利用者のみなさんに広くよびかけ、戦争法案反対の声をひろげましょう

衆議院で強行採決されたとはいえ、安倍政権は国民に十分説明していないという声は 8 割を超えています。今月に入ってからの各紙世論調査でも説明が「不十分」との回答が 8 割、今国会での「成立反対」が 6 割に及んでいます。そして安倍政権の不支持率が支持率を上回りました。これまでの私たちのとりくみが今、安倍政権を追い詰めています。9 月国会会期末まで、戦争法案に反対する運動をさらに広げ、廃案をかちとるために奮闘しましょう。

以　上